

いるか、問題が旅客会社との關係が強いものであり、会社の基本姿勢を求めるものとなつた。

分割・民営化のワクから 一步もふみでない発想

なつた。地球環境問題とからめて國の補助金を要請してみないのかとの問いには、「國は株主だから、これで補助金をとは言えない」と、何らの策もないことが明らかとなつた。この問題は、今後も春闘や99年度事業計画などの交渉のなかでも何度も追求なければならない、貨物会社の基本的根本問題である。

卷一

「線路使用料」、運転保安で 貨物本社交渉

「貨物会社の基本的あり方」を問う

申 し 入 れ 事 項

回 答 及 び 見 解

1. この間の「経常損益の赤字」を理由にして、賃上げ・期末手当の支払いが組合要求と大きくかけ離れた状態が続いている。このため会社間格差が拡大し、社員のなかに不満が充満している。

景気動向や国鉄分割・民営化の経過を鑑み、今日の経営状態を考える時、「線路使用料」の抜本的軽減措置が講じられるべきと考えるが、会社の考え方を明らかにされたい。

2. 運転保安について、下記の考え方を明らかにされたい

(1) 台風により列車が大幅に混乱した9月16日深夜、5986列車が千葉駅0番線に、また、5983列車が同6番線に、同駅通過予定で入線したところ、き電停止させていた。

これは運転保安上重大なことと考えるが、会社の考え方を明らかにすること。

(2) 異常時におけるき電停止及び列車遅延による列車留置後のブレーキ試験の現状と今後のあり方について会社の考え方を明らかにすること。

(3) 旅客会社による異常時の運転整理について、貨物列車が無視されている実態が年々深刻化していることに関して、会社の考え方を明らかにすること。

3. 京葉線への貨物列車の乗り入れについて、時期・実施計画・列車設定等具体的な内容について明らかにされたい。また、「臨海副都心線」乗り入れについて具体的な展望を明らかにされたい。

- 線路使用料は、発生額を支払う」という考え方による事業を行なっていく。そこで、第2種鉄道事業者として「貨物方に基づき、前年度実績により経費を算定され、支払う」という考え方で、費用が単価に相当するものがある。毎月、支払つていており、今後もこの協定を継続する。
 - 列車が大幅に遅延している場合のき電停止時の列車の確認については、列車の運転が全て終了したこと又は遅延している列車の処置を終了したことを確認し、き電停止の手配をとるべきである。
会社としては、支社レベルで、旅客会社に対して今後の種の事故防止のため、現場と輸送指令との確認方について改善を要望しているところである。また、遅延した貨物列車等がある場合には、終夜き電等の措置をとるよう要望していきたい。
 - 列車のブレーキ試験は、列車を組成したとき、組成を変更した場合、機関車を付け替えた際に行なうものであり、列車留置後のブレーキ試験は、特に定めていない。
 - 今回の佐倉駅での1099列車の長時間停車は旅客列車の運転終了後に運転再開となっている。
会社としては、旅客列車に対して貨物列車の運転要請をより積極的に働きかけ、長時間停車を解消していきたい。ダイヤ混雑時においては、貨物指令等わが社の社員も貨物列車の運転に積極的に係わり、商品価値が損なわれないようにしていきたい。
 - 本計画は、京葉地区の鉄道貨物の輸送改善のため、従来の南流山駅から常磐線に離れる。これにより、従来のルートを武藏野線、京葉線に新設する。総距離は約11kmと短くなる。この距離は、これまで縮れていた。このようにして約2時間の輸送時間が大幅に短縮される。また、本計画は、CO₂削減に貢献する地球環境問題への貢献度を引き上げることから、その政府補助金による予算が評価され、平成10年中に実現する。この計画は、物流効率化のための重要な役割を果すものである。

ミ平るは
タリ、い期
物ありて時
葉要着詳しな。
千必に業が
貨で手細な。
蔵のし、して
武許得して現
葉事許を予は
線業を予は列
京道免取定、
種間12年つて
は、鐵の年度い
には、2区成等
め第該平定心
たの当のには、
の施間日には、
実山25月のり、
の流月のり、「
ナル～成10年6
本計画南本計
度化を

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の勤労千葉を創りあげよう！